

## 【茨城】

## ヤギ親子 除草と癒やし つくばFCグラウンド

2011年6月10日

つくば市水堀のサッカーグラウンドで、ヤギの親子が雑草をモリモリ食べ、除草作業に一役買っている。「レンタルヤギ」の事業化を目指す市内の農業関連会社に、サッカーのクラブチーム「つくばFC」が協力。夏までにグラウンド脇に小屋を設け、ヤギを常駐させる計画だ。

ヤギは家畜の歴史が古く、人に慣れていて、おとなしい。病気にも強く、昔の農家では残飯処理用に飼育されていた。母ヤギの乳は毎日約二リットル出て、人も飲める。事業化を目指すのは同市中根の「CHASQUI(チャスキー)」で農産物の生産者でもある。災害時にヤギの乳は非常食に使えるとして、十八頭を飼育している。



サッカーグラウンド脇の雑草を食べるヤギ=つくば市水堀で

つくばFCでは、雑草の成長が早い夏場の除草作業に頭を痛めており、スタッフの負担軽減と環境に優しい除草ができるとして試験導入を受け入れた。

ヤギは一日に十キロ程度の雑草を食べるといふ。五月十九日から導入し、おなかをパンパンに膨らませて雑草を食べ続けるヤギの親子に、練習に来た子どもたちも触れ合い楽しんでいる。

同社の藤岡潤社長(30)は「ヤギは地上から五、六センチ分を食べ残すので芝に害はない。コストは機械に太刀打ちできないが、ヤギの癒やし効果やエコに価値を見いだしていただければ」と期待している。(小沢伸介)

## PR情報

[銀座の老舗金箔屋！本物の金箔打ち紙で作った吸収力バツグンの油とり紙](#)  
[全国の逸品をお取り寄せ！47CLUB\(よんななクラブ\)](#)